

## 令和4年犯罪抑止目標等について

### 1 趣旨

県内の犯罪情勢は、平成14年に刑法犯認知件数が32,183件となり過去最多であったが、「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例の制定(平成15年)とともに、県、市町、事業所などによる県民総ぐるみ運動を推進した結果、刑法犯認知件数は概ね減少傾向で推移している。令和3年は5,814件(暫定値)となり、昭和34年以降、最も少ない件数となるが、令和3年の目標「5,500件以下」は未達成となった。

引き続き、県民総ぐるみの運動を推進できるよう、令和3年の犯罪概況等を踏まえ、令和4年の犯罪抑止目標や取組方針を取り決めることとする。

### 2 令和3年の状況

#### (1) 令和3年目標

「治安の良さを実感できる社会を目指して！」

～県民の心と力をあわせて！アンダー5,500件～

～特殊詐欺被害80件以下、住宅侵入窃盗被害150件以下～

#### (2) 令和3年犯罪概況 (暫定値)

ア 刑法犯認知件数 5,814件

8年連続減少となったが、抑止目標5,500件は未達成

イ 特殊詐欺被害 104件

令和2年の88件から増加し、抑止目標80件は未達成

ウ 住宅侵入窃盗被害 145件

2年連続減少となり、抑止目標150件は達成

### 3 令和4年犯罪抑止目標(案)

#### (1) 令和4年目標

「治安の良さを実感できる社会を目指して！」

～県民の心と力をあわせて達成しよう！アンダー5,500件～

～特殊詐欺被害80件以下、住宅侵入窃盗被害140件以下～

#### (2) 目標の設定理由

ア 主目標と刑法犯認知件数の目標の設定

令和3年の刑法犯認知件数は5,814件となり、抑止目標5,500件以下は未達となったことから、主目標「県民の心と力をあわせて」、刑法犯認知件数の目標値「5,500件」を継続するとともに、主目標に達成に向けた強いメッセージとして「達成しよう」の言葉を追加する。

イ 特殊詐欺被害、住宅に侵入する窃盗被害の目標設定

県民の関心が高く、体感治安に影響のある特殊詐欺や住宅に侵入する窃盗事件に関して、具体的な目標値を設定する。

(ア) 特殊詐欺被害

目標(80件以下)は未達となったことから、令和4年の目標値は、再度同じ目標を設定する。 ※ H30:115件、R1:144件、R2:88件、R3:104件

(イ) 住宅侵入窃盗被害

2年連続で減少し、目標は達成となったことから、令和3年刑法犯認知件数の減少率3.7%で算定し、140件以下を目標とする。

※ H29：351件、H30：190件、R1：244件、R2：190件、R3：145件

#### 4 重点対策の指定

(1) 重点対策

- ア 特殊詐欺被害防止
- イ 住宅に侵入する窃盗被害防止
- ウ 子ども・女性対象犯罪被害防止

(2) 設定理由

ア 特殊詐欺被害防止

被害は増加し、高齢者を中心に被害が発生している。

※被害件数 104件（前年比+16件）

うち高齢者 74件（約71%）

被害額 約1億4,146万円（前年比△約963万円）

うち高齢者 約9,778万円（約69%）

イ 住宅に侵入する窃盗被害防止（空き巣、忍込み、居空き）

犯人と遭遇して危害を加えられるなど、県民が不安に感じている割合の高い犯罪

※住宅侵入窃盗 145件（前年比△45件）うち無施錠67件（無施錠率 約46.2%）

ウ 子ども・女性対象犯罪被害防止

県民の関心が高く、体感治安に大きく影響を与える犯罪

なお、子ども・女性対象性犯罪等は被害が潜在化する傾向が強いため、届出を促す観点から、件数の減少を目指す抑止目標の設定は行わない。

※ 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ、痴漢等） 239件（前年比+47件）

前兆事案（声かけ・つきまとい事案等） 702件（前年比+99件）

#### 5 参考(他県との比較 暫定値)

(1) 人口同規模県（奈良、愛媛、山口、長崎、沖縄）の刑法犯認知件数との比較

滋賀5,814件、奈良5,150件、愛媛5,804件、山口3,871件、長崎3,155件

沖縄5,836件

同規模県の中では、滋賀県の刑法犯認知件数は沖縄に次いで多い。

(2) 立地環境の近い県(大都市圏に隣接する奈良、栃木、群馬、三重、岐阜)との犯罪率

の比較 ※犯罪率 人口1万人に対する刑法犯認知件数

滋賀41.0件、奈良38.3件、栃木46.2件、群馬46.4件、三重41.2件

岐阜47.0件

立地環境の近い県の中では滋賀県の犯罪率は奈良に次いで低い。

#### 6 今後のスケジュール

R4. 2. 1 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議総会（採択）